

<p>【イベント名】 第5回ボリビア内視鏡ワークショップ</p>	<p>【概要】 この遠隔講演は第15回国際先進的内視鏡研修コースの中で開催された。京都府立医科大学の吉田先生より、大腸腫瘍の診断と治療について講演があった。画像強調内視鏡検査の有用性や大腸ESDのコツについて、沢山の動画を用いたプレゼンテーションが行われ、会場の参加者は講演に聞き入っていた。音声、画像の品質は良く、ボリビアの多くの参加者にとって大変有用な講演となった。</p>
<p>【期日】 2019.02.14</p>	
<p>【会場】 ボリビア・日本消化器センター（ボリビア）、 京都府立医科大学（日本）、 ドレクセル大学（アメリカ合衆国）、 九州大学病院（日本）</p>	



メイン会場で座長を務めたDr. Ricardo.

撮影場所：九州大学病院



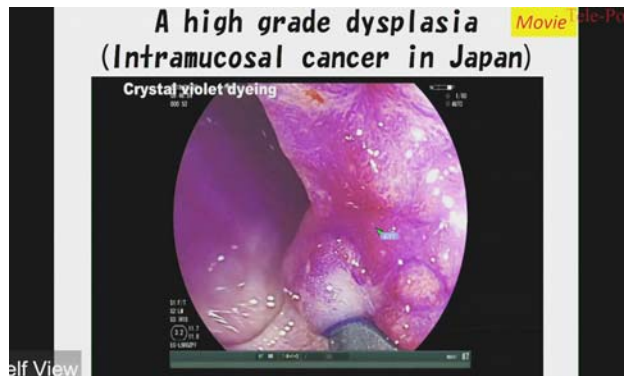
スクリーンに映し出される接続施設。

撮影場所：ボリビア日本消化器病センター



京都府立医科大学から講演を行うDr. 吉田。

撮影場所：京都府立医科大学



Tele-Pointerを用いた内視鏡動画の提示。

撮影場所：九州大学病院



ボリビア日本消化器病センターの様子。

撮影場所：ボリビア日本消化器病センター



九州大学病院から参加するDr. 森山。

撮影場所：九州大学病院